



特集

2020年東京パラリンピック正式競技

ボッチャを楽しもう！

◎問合せ スポーツ課 ☎25-8131

皆さんは「ボッチャ」というスポーツを知っていますか。パラリンピックの正式競技で、障害があってもなくても、子供から高齢者まで楽しむことができます。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでドイツのホストタウンに認定されている本市。ボッチャを通してドイツと相互に交流していきます。

誰でも参加できるスポーツ

ボッチャは脳原性疾患等による四肢まひなど、比較的重い障害のある人のためにヨーロッパで考案されました。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤と青のボールを投げたり転がしたりして、いかに近づけるかを競います。カリーングのように相手のボールを弾くなどして自分が優位になるよう位置取りをしていきます。ボールを手で投げることができなくても、足で蹴ったり、自分の意思を介助者に伝えランプ（勾配具）という道具を使ったりすることで誰でも参加できます。

トップ選手の試合では、緻密な戦略と正確な投球で争われ、一投で逆転することもあるので、最後まで目が離せません。前回のリオデジャネイロパラリンピックで日本代表チームが銀メダ

ルを獲得したことで、国内でも注目が高まっている競技です。

相互交流で地域の活性化

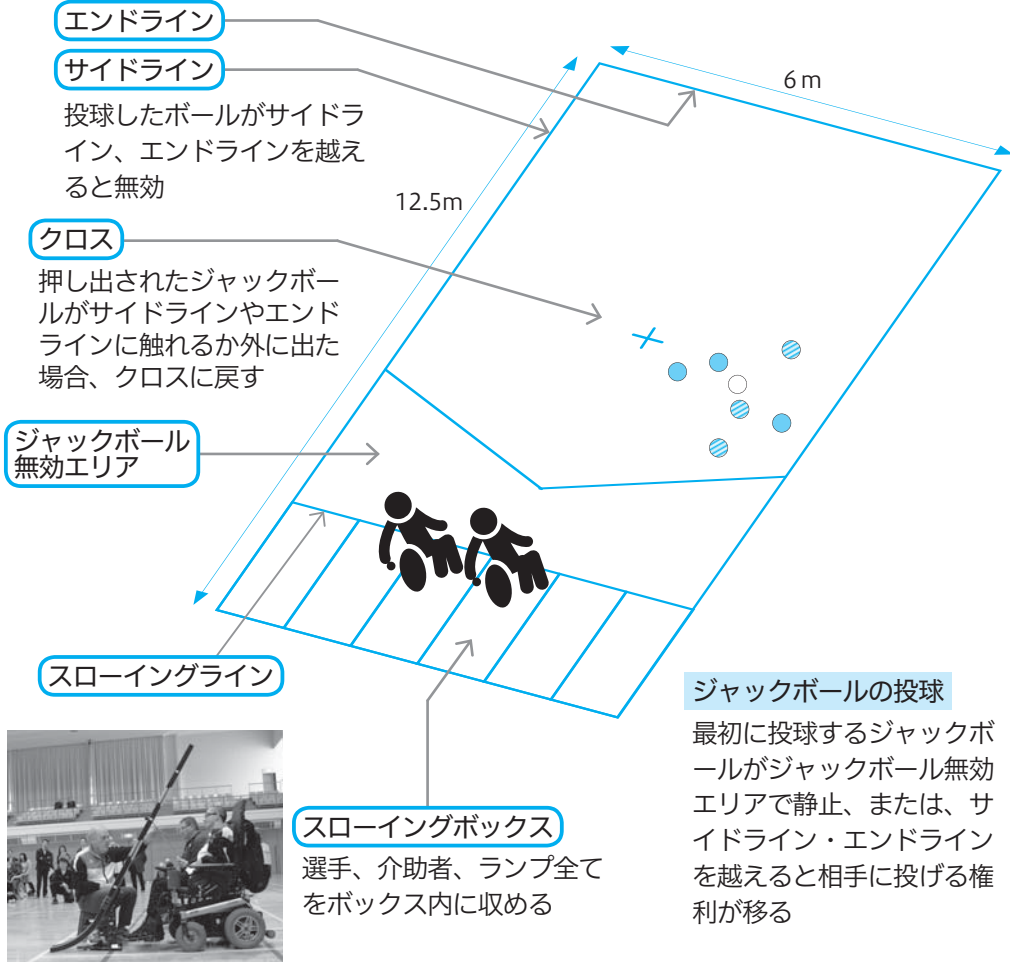
ホストタウンとはオリンピック・パラリンピックを地域の活性化、グローバル化、観光振興等につなげるため、参加国や地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る取り組みです。市はドイツのほかに、東ヨーロッパにあるモルドバのホストタウンにも認定されています。

これまでに、モルドバ大使による市内小・中学校での特別授業、ドイツ・モルドバ両国との食や農業をテーマとした交流事業などを開催してきました。今年3月には、ドイツ・ザールラント州から、ボッチャの代表候補等の選手4人と同州障害者連盟会長、代表監督など計9人が来鶴。パラリンピック本番に向けた事前合宿が行われました。また、これに合わせ、日本代表チームの選手2人との公開試合や市民との交流体験会を開催しました。

体験してみませんか

市ではボッチャの競技用具を市民の皆さんに貸し出しています。また、指導巡回を実施するなど普及に努めています。ぜひ実際にボールに触れて魅力を感じてみてください。そして、みんなで日本とドイツを応援しましょう。

ボッチャのルール・試合の流れ

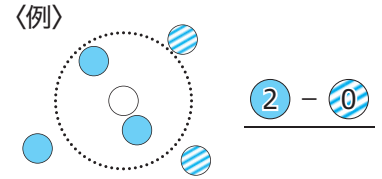


試合の流れ

- ①両選手（ペア・チーム〈3人〉）が6個ずつのボールを使用
- ②先攻側が的となるジャックボールを投げ、続けて1投目を投球
- ③後攻側が最初の投球
- ④ジャックボールからより遠い位置にボールがある側の選手が次の投球
- ⑤先攻側・後攻側ともに6球ずつを投げた時点で得点を計算
※この一連の流れを1エンドとし、個人戦とペア戦は4エンド、チーム戦は6エンド行う。
- ⑥以降、各エンドを戦い、点数を付ける。総得点の多い方が勝利

得点の計算

ジャックボールに最も近いボールを投げた側にのみ得点が入る。相手側の一番近いボールよりも、近いボール1個につき1点



ジャックボールの投球

最初に投球するジャックボールがジャックボール無効エリアで静止、または、サイドライン・エンドラインを越えると相手に投げる権利が移る

ホストタウン推進の取り組み

- 平成28年
6月 ドイツのホストタウンに登録認定
12月 モルドバのホストタウンに登録認定
- 平成29年
5月 モルドバ大使が来鶴。櫛引南小学校、櫛引中学校で特別授業を開催
モルドバワインを楽しむ会を開催
10月 ドイツ・ザールブリュッケン独日協会が来鶴し体育施設を視察
11月 市民向けのボッチャ体験会を開催
- 平成30年
2月 ドイツ・モルドバ有機農業者交流を実施
3月 ドイツ・ボッチャ代表候補が合宿

モルドバワイン×ドイツビール×日本酒 ウェルカムパーティー開催！

6月30日④にホストタウン相手国の方々を囲んでのウェルカムパーティーを開催します。詳細は6月中旬に市ホームページに掲載します。

日本代表チーム「火ノ玉」APAN（ジャパン）のメンバーが語るボッチャの魅力



河合俊次 監督

障害の有無に関わらずできるのがボッチャ。ボッチャの世界では誰もが対等です。

「今日、ちょっとボッチャやろうよ」って気軽に楽しめるスポーツなんです。ぜひ、皆さんも体験してみてください！

カーリングに似ている競技ですが、ジャックボールが動くので最後まで勝負が分かりません。高度な戦略によって勝負が決まるところが魅力ですね！



江崎駿 選手

高田信之 選手